



# Step Up



2018/9/14 No. 24

## 新たに行っている単元～ティーボール～

No.18の『Step Up』で、「新しく用具をいろいろと買ってもらった。」と書かせてもらいました。その中に、【ティーボールセット】があったのを覚えていますか？これまで、天小の年間指導計画にはベースボール型の授業が、ほとんどありませんでした。ハンドベースボールやキックベースボールでは、高学年になると物足りなくなるので、新たにティーボールを行うことにし、その初めての授業を昨日、6年生で実施しました。これまでに自分で実践したことがないので、授業の流れや子どもたちの動きをイメージできない部分がありましたが、やってみると子どもたちはとても楽しそうに行っていました！ティーボールは、止まっているボールを打つので簡単そうですが、道具（バット）を使うことに難しさがあります。その難しさにも、子どもたちは楽しみを感じている様子が見られました。技能を習得したり、自分たちに合ったルールを考えていったりしていく中で、更なる楽しさを感じさせていけたらと思っています。また、ベースボール型はプレーが止まる“間”があるので、それを上手く活用することにも楽しさを見出せるよう指導していこうとも考えています。

今回は、単元を通じて略案を作成していき、実践の内容を残していこうと考えています。途中で息切れをして、作成しなくなったらごめんなさい(笑)。Landiskに入れておくので、もし興味のある方がいらっしゃったら覗いてみてほしいですし、使えそうであればデータをコピーして持って行っていただいてもかまいません。どんな実践になるかわかりませんが、みんなで共有できるものは共有していきたいですね～！

水泳カードやジョギングカードは、もう記入が終わりましたか？！そろそろ集計しないと、児童や保護者への集計の周知が遅くなってしまいます…。よろしくお祈りします！！

## 第22週 (9/17～9/21) 時間割&学習内容

	17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)		学習内容
1校時	敬老の日 委員会	6年生	5年生	4年生	4年生	1年生	てつぼうあそび
2校時			1年生	× (2年生)	5年生	2年生	てつぼうあそび
3校時		研究授業(2年)	2年生	啓徳(1年生)		3年生	鉄棒運動 学表現
4校時		3年生		啓徳	6年生	4年生	鉄棒運動
5校時			3年生	啓徳(5年生)		5年生	鉄棒運動 学表現
6校時				× (3年生)		6年生	ティーボール



# Step Up



2018/10/26 No. 30

## まだまだ伝え切れていない(言い足りない)ことが..

先日から回覧している、「第55回 北海道学校体育研究大会 渡島大会」の情報還元票は見ていただけましたか？何かしら、みなさんが活用できそうな情報はあったでしょうか(・ω・) 情報還元票にもいろいろと書かせてもらいましたが、まだ伝えたいことがあるので通信にも書かせてもらいます。

私も、ボール運動ではゲームを毎回のように入れて授業を進めることが多いです。ゲームは、単元の中でも子どもたちにとって楽しみなことですね。単元の最後だけでなく途中にもゲームを入れることで、身に付けた技能や考えた作戦を試すことができる場ができ、子どもたちが新たな課題を見出すことができるようになります。そう考えても、単元の中のゲームはとても有効的であると思います。しかし、楽しいから、子どもたちがやりたいからといって、

ゲームだけやっていけばよい訳ではありません。何も手立てをせずにゲームばかり行ってしまうと、ゲーム自体は楽しんでやるが楽しむだけになってしまい、ただのレクのような形になってしまいます。子どもたちに考えさせる場面をしっかりと設定し、その中に評価観点(指導場面)も設定していく必要があります。ゲームに必要な技能については、ゲームの中だけでも向上していきますが、それだけでは厳しいと思います。知識や技能を指導したり、身に付けさせたりする時間(場面)も単元の中に設定したいですね。

【知識及び技能】は、新学習指導要領で新しくなっている観点でありますね～。また、ゲームの中での子どもへの声かけで、こちらの意図した動きをしてくれるようになることもあります。どのように動かすには、どのようなことを言えばよいかなどを考えることは、体育に限ったことではなく、授業をするこちらの楽しみにもなりますよね！

このようなことも頭に入れながら、体育の授業について考えてもらえればと思いますm(\_ \_)m

## 第28週 (10/29～11/2) 時間割&学習内容

	29日(月)	30日(火)	31日(水)	1日(木)	2日(金)		学習内容
1校時		4年生		6年生		1年生	体力テスト なわとびあそび
2校時	3年生	2年生	5年生		×	2年生	体力テスト なわとびあそび
3校時	1年生	1年生	6年生	合同学習	啓徳	3年生	体力テスト
4校時	6年生	3年生	4年生		啓徳	4年生	体力テスト なわとび
5校時	2年生	5年生		4年生	啓徳	5年生	体力テスト 体づくり運動
6校時				校内研修事後研	啓徳	6年生	体力テスト なわとび



# Step Up



2018/11/16 No. 33

## ～ボール運動についての話の続き～

前号で、「新学習指導要領で、低学年のボールゲームの例示からドッジボールがなくなった。」と書かせてもらいました。子どもたちはドッジボールが大好きなので、休み時間の全員遊びやお楽しみ会によく取り入れますよね。授業でも、『ボール投げゲーム』で取り上げる先生がいると思います。「新学習指導要領の例示になくなったから、授業でやることはできないのか!？」と思うかもしれませんが、そうではないようです。『相手コートにボールを投げ入れるゲーム』が例示され、その素材としてドッジボールを取り上げることができそうです。」と書かれていました。意図をもって設定すれば、新学習指導要領になってもドッジボールを授業で行えるのです!また、「ドッジボールの攻守の動きは、バレーボールの動きに似ているので、ドッジボールで学習したことが、中・高学年で学習するネット型の学習へと転移する可能性があります。」とも書かれていました。やり方によっては、ドッジボールが子どもたちにとって楽しめるし、学習効果も高い内容になるでしょうね!! (これらのことについての詳細は、別紙を参照してください)

「ボール投げゲームなら、ボールを投げるドッジボールをやればいいんだ。」と、安易な考えでドッジボールを扱う人もいると耳にしたことがあります。扱うこと自体はよいのですが、「投げる=ドッジボール」と安易に考えてしまっただけでは、本当に身に付けさせたい力を身に付けさせることはできません。何を目的に行うのか、その達成のためにどのような手立てを講じるのかなど、しっかりと考える必要があります。どの教科でも同じことですが、特に体育は教科書がないので、授業者自らの考えをしっかりともってから単元に入っていきたいですね。単元の最後に、子どもたちのどのような姿を見たいかを明確にすれば、何かしらヒントが見えてくるかもしれないですね。



## 第31週 (11/19~11/23) 時間割&学習内容

	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)		学習内容
1校時		4年生		x(天小まつり準備)	勤	1年生	ボールけりゲーム
2校時	3年生	2年生		天小まつり	労	2年生	シュートボール ボールけりゲーム
3校時	1年生	1年生	天小まつり			3年生	サッカー
4校時	6年生	3年生	縦割りの班活動		謝	4年生	サッカー
5校時	2年生		x(天小まつり準備)		の	5年生	
6校時	職員会議	6年生	x(天小まつり準備)		日	6年生	鉄棒 (雨天時) 高跳び



# Step Up



2018/11/30 No. 35

## ～教育課程編成協議会に参加してきました～

先日、「教育課程編成協議会」に参加してきました。4年前に『理科部会』で参加して以来、2回目の参加でした。今回は、平成32年度からの新学習指導要領全面実施に向けて、どのようなことをしなければならぬか考える機会が多くありました。体育の実践交流が多くあることを期待していましたが、それはまた、別な機会に期待したいと思います。教育課程編成協議会の詳しい内容については、後日、情報還元票と資料を回覧しますので、ご覧になっていただきたいと思います。

今回は、体育部会で話題になり、私も初めて理解したことについてお伝えします。様々な変更点があるので、教科の新しい目標等を踏まえた年間指導計画を作成しなければなりません。学習指導要領【体育編】の【内容及び内容の取扱い】に、



- 中学年のゴール型ゲームについては、陸方チームと相手チームが入り交じって得点を取り合うゲーム (ハンドボール、ポートボール、ラインサッカー、フットサルなど) 及び陸地を取り合うゲーム (タグラグビー、フラッグフットボールなど) を取り扱う。
- 高学年のゴール型はバスケットボール及びサッカーを、ネット型はソフトバレーボールを、ベースボール型はソフトボールを主として取り扱うものとするが、これらに替えてハンドボール、タグラグビー、フラッグフットボールなどア、イ及びウの型に応じたその他のボール運動を指導することもできる。

と、新たに記載されました。端的に言うと、中学年で下線を引いた内容は、必ず両方取り扱わなければならないことになっています。昨年度末に、若干、体育の年間指導計画を変更しましたが、この点については全く触れていませんでした。まだまだ、十分な理解ができていないかと再確認しました…。他にもいろいろと伝えたいことがあるので、情報還元票や別な機会にできればと思っていますm(\_ \_)m

## 第33週 (12/3~12/7) 時間割&学習内容

	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)		学習内容
1校時		4年生	5年生	啓徳	4年生(保)	1年生	ボール投げゲーム
2校時	3年生	2年生		啓徳		2年生	ボールけりゲーム
3校時	1年生	1年生	2年生	啓徳		3年生	高跳び 保健
4校時	2年生	3年生	4年生	x	x	4年生	高跳び 保健
5校時	6年生(町研授業)	5年生			啓徳	5年生	サッカー 保健
6校時			6年生		x	6年生	跳び箱運動



# JUST DO IT.



2019/4/6 No.3

## 授業で気を付けたいこと・やってほしいこと

来週の時割を見せてもらいましたが、体育の授業が本格的に始まるには、まだまだ時間がかかりそうですね。学級体制づくりなど、決めなければならないことが山のようにあるので、まずはそれからですね。もしかすると、1年間を決める1週間になるかもしれないので、決めるべきこと、指導すべきことは時間をかけてでもしっかりとやるべきでしょうね！そのためは、しっかりとした準備が必要になるので、忙しい日々が続くそうですね…。それらが決まる頃には、子どもたちの様子も掴めてくると思うので、授業のペースも通常に戻っていきましょう！体育が入っていない時間には、各学級の授業を覗きに行かせていただくと思っています。邪魔にならないようにしますので、よろしくお願いしますm(\_ \_)m 授業で手が足りない場合は、事前に声をかけていただければ、1時間びっちり入ることも可能ですよ！体育以外の授業作りも、何かしらアイデアは出せると思うのでお声をかけ！

No. 2の内容以外でも、授業の中でこれは必ずやるようにしてほしい！！ということ挙げます。年間を通してやっていきたいことなので、初めの段階からぜひ実践していきましょう！！これまでに実践していない内容で、慣れない部分もあるかと思いますが、よりよい授業のために必要な取組、子どもたちにとって効果的な取組だと考えますので、よろしくお願いします！！

### ①準備運動（体操など）は子どもではなく、先生方が前に出て行く！

～“体育係”や“体育委員”の子たちに、役割として体操を進めてもらう形ではなく、先生方が手本を示しながら準備運動を進めましょう。主運動に繋がるような運動を取り入れたり、必要な部位をほぐすことができる体操を行ったりしていきましょう。授業の内容によって、準備運動でやることを変えていくことも重要ですね。準備運動には、体だけでなく心をほぐす役割もあるので、少しでも楽しくできる工夫があればよいと思います。私は、音楽をかけて体操をすることで、リズムよく楽しめるようにしています。音を流しながらでも、リズムが多少ずれても子どもたちは気にしないし、カウントしながら体操をするよりのびのびとやっている印象があります。音が必要ならば出しますよ！

### ②板書を活用する！

～体育以外の教科では、課題や授業の流れ、ポイントなどを黒板に残しますよね。体育でも、他教科と同じように板書を活用していきましょう。基本的な授業の流れは、体育だからといって変わらないので、同じように活用していければよいと思います。

どの学年も、【体ほぐしの運動】の次は、【マット運動】を行うことになっています。器械運動の授業では、回転したり逆さになる機会が多くあり、ジャージーやパーカーのフードが邪魔になってしまう（見えなくもなり危険もある）ことがあります。器械運動の期間中は、できるだけフード付きの服装を避けるよう、子どもたちに指導してもらいたいです。よろしくお願いします。

また、マット運動は手を着くので、爪のチェックもお願いします（伸びていると危険）！！

※先生方も、子どもたちと同じような服装で授業を行うようにしましょう！



# JUST DO IT.



2019/4/26 No.7

## ～身に付けさせたい力のための場の設定～

現在、全学年で「マット運動（あそび）」が行われています。ほとんどの学年で、担任の先生方にT1で授業を行っていただいているので、先生方の実践（考え方）を見ることで学ばせてもらっています！身に付けさせたい力（技）を考え、その習得のために工夫されている2つの実践を紹介します。

まずは、2年生。マットを縦に川の字に並べず、円形や放射線状に並べる工夫をしています。マットが円形に並んでいることによって、子どもたちは自分以外の人の動きが見やすくなります。他の人にアドバイスをしたり、参考にしたりということがやりやすくなりますね。また、教師目線で考えると、ある程度均等な距離から見る事ができるので、アドバイスがしやすいですね。子どもたちがどのような動きをしているかが分かりやすく、その時に適したアドバイスが瞬時にできそうですね。この並べ方は、私も前から【2年生～円に並べる～】やってみたく思っていたものなので、早速、他の学年で真似しています（笑）。

3年生でも素晴らしい場の設定がありました。“マットあそび（2年）”→“マット運動（3年）”に変わり、【技】の学習が始まったので、【前転】と【後転】を中心に学習を行っています。『道』に見立てた4つの場（細道・山道・坂道・平道）を作り、それぞれで身に付けさせたい動きを変えています。“真直ぐ回る”“着地で足を出す”“勢いを付けて回る”ができるようにと、それぞれ設定しています。一つ一つの動きが獲得できれば、技はしっかりとできるようになるだろうと考えています！それぞれの場で意識しなければならないことを、子どもたちにしっかりと理解させて取り組むことが必要になるでしょうね～。

みんなで共有したい実践があれば、また紹介していきたいと思います！授業の写見は見づらと思うので、landiskの体育専科の中に撮った写真を入れておくので、ぜひ見やすいものを見てみてください☆



## 第6週（5/6～5/10）時間割&学習内容

	6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)		学習内容
1校時	振替休日	4年生	5年生	6年生	4年生	1年生	マットあそび
2校時		2年生	4年生	1年生	×	2年生	マットあそび
3校時		1年生	×	2年生	啓徳	3年生	マット運動
4校時		3年生	啓徳	5年生	啓徳	4年生	マット運動
5校時			啓徳		啓徳	5年生	マット運動
6校時			啓徳			6年生	マット運動





# JUST DO IT.



2019/6/21 No. 15

## 一時間や一単元で見通しをもつ・もたせること

学校の研究授業や、研究会での授業の事後研で、「見通しの立て方が甘かった。」「子どもたちに見通しをもたせられなかった。」などという話を耳にする機会がよくあります。自分もそれが上手いかなくて、失敗してしまった授業（他の仕事も）がいくつも…。【見通し】を立てたりもったり、もたせたりすることはとても難しいことですね。しかし、難しくてもしっかりとやっておきたいことであります。一時間の授業であったり一単元であったり、学期毎であったりの見通しを立てておくと、何かと役立つでしょうね。



体育では、4年生のポートボールで藤井先生が、5年生のバスケットボールで坂本先生が単元計画を作成していました。一単元での見通しですね！単元計画があれば、毎時間の授業を考える際に見通しをもてます。ざっくりとしたものでもあれば、内容を変更するにしても少しの変更で済みますよね。お2人はがっちりとしたものを作成していましたが、私が授業をやる時には、ざっくりとしか先生方に伝えていなくすみません…。この2つの学年の授業でも、計画から変更することが何時間ありましたが、計画の中に最終的なゴールが定められていたので、そこに向かっての変更であったため、授業の大枠がぶれることは

ありませんでした。授業を一緒に行っている側としても、どの時間にどのような内容で授業を行うか分かっていると、一時間の中でのだけでなく単元を通じての意図も分かるので、授業の内容や進め方についても話がとてもしやすくなります。何かとあればいいでしょうね～！

また、単元計画とは別な話ですが、5年生のバスケットボールでは単元を通じての目標、最終的になりたい姿を掲示物として用意していました。それによって、子どもたちは目標を見失うことがありませんでした。これも、単元を通じた見通しを子どもたちにもたせられる工夫になりますね！一時間の中でも、授業の初めに学習内容を説明したり、作戦タイムやチーム練習の意図を伝えたりすることで見通しをもつことができ、子どもたちの学習効果が上がるでしょう☆ぜひ取り組んでみましょう(●´ω´●)



## 第13週 (6/24～6/28) 時間割&学習内容

	24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)		学習内容
1校時		2年生	5年生	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     修学旅行                      引率のための                      不在                      適正二・四年生                 </div>		1年生	とびっこあそび
2校時	3年生	6年生	4年生			2年生	シュートボール
3校時		1年生	×			3年生	ポートボール
4校時	6年生	3年生	啓徳			4年生	ハードル走
5校時	2年生	5年生	啓徳			5年生	走り幅跳び
6校時	クラブ	4年生	啓徳			6年生	バスケットボール



# JUST DO IT.



2019/8/30 No. 23

## ジョギングは学習指導要領でどの領域に位置付けられる？

先週からジョギング練習が始まり、朝や休み時間にたくさんの子が練習に取り組んでいます。様々な活動が重なっている中ですが、とても意欲的に取り組んでくれているのが嬉しいです。学級でも、声かけをしていただいているおかげなのでしょうね。ありがとうございます！普段は器械運動やボール運動が苦手な子の中にも、自分のペースでたくさん歩くことはできる子がいると思います。そのような子にとっても、自信に繋がる活動になるかもしれませんね。



さて、タイトルにある通り、ジョギング（持久走）は学習指導要領でどの領域に位置付けられるでしょうか？走るから陸上競技と思いがちですが、陸上運動（走・跳の運動）にはジョギング（持久走）は位置付けられておらず、「体づくり運動（低学年は「体づくりの運動遊び」）」で位置付けられています。となると、考えなければならないのが評価です。体づくり運動は、基本的に技能の評価は行わないのはご存じですよね。学習指導要領では、【技能】の部分【運動】になっていて、新学習指導要領でも【知識及び技能】に観点が変わりますが、体づくり運動では【知識及び運動】になっています。このことから、技能面での評価は行わないことが分かりますね。運動の例示で、「無理のない速さで5～6分程度の持久走をすること。」と明記されていて、自分の力の限りに速く走ることが目的にはなっていません。ジョギング大会は学校行事ではありますが、町が主催の大会なので「速さ」で順位付けをしています。これは、スキー大会でも同様です。運動の行い方（泳ぎ方や滑り方など）を重視して考えている（評価している）学校とズレがあるので、大会の成績と評価を直接結び付けるのは難しい部分です…。ジョギングの記録（様子）は、できれば【思考・判断】に生かせるのがベストであります。2学期の評価の材料が少なければ、記録を【技能】の評価に活用するのもよいと思います。

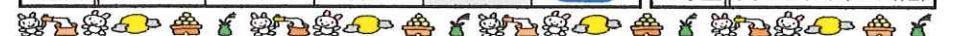


ジョギング大会まであと1週間なので、子どもたちが更に練習を頑張れるような声かけや、頑張っていることへの称賛をお願いします！



## 第20週 (9/2～9/6) 時間割&学習内容

	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)		学習内容
1校時	5年生	(2年生)				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     研究発表                      のため不在                 </div>	1年生 水遊び ジョギング(コース練習)
2校時	3年生		コース(低)	1年生			2年生 ジョギング(コース練習)
3校時	1・6年生	コース(高)	コース(低中)	3年生	課		3年生 保健 ジョギング(コース練習)
4校時	1・6年生	コース(高)	コース(中)				4年生 ジョギング(コース練習)
5校時	2年生		啓徳				5年生 ジョギング(コース練習)
6校時		4年生	啓徳	クラブ			6年生 水泳 ジョギング(コース練習)





# JUST DO IT.



2019/10/4 No. 28

## これをみたことをおぼえているでしょうか？

学芸会特別時間割開始から1週間。学芸会練習の疲れが溜まってきている頃で、朝夕の気温も徐々に下がってきているので体調を崩しやすくなるかと思いますが、健康に留意されながら学芸会まで教職員一丸となって頑張っていきましょう！

さて、今週はほとんど体育の授業が入らない状況(予想通りですか)だったので、通信だけでも体育に関連した内容を、7月にあった「小学校体育授業在り方検討会議(体育専科の会議)」の資料に、【身につけておきたい36の基本動作】というものがあつたのを覚えているでしょうか？体づくり運動の実技講座で、“幼少期のうちに身に付けておけるとよい動きの種類”として紹介されていました。私はこの存在を知らなく、見た時に「なるほどなあ〜！」と感心させられました。「小さい頃からこんな動きをしておけるとよい」ということは、これまでおぼんやりと考えてはいましたが、これを見ればしっかりと何をした方がよいか理解できると思います。



学芸会前の【鉄棒】を実施していた時に、頭を下げる・逆さになる・自重を支える・回転することが苦手な子が多く、「小学校に上がる前までの経験が足りないのだろうか？」と考えました。小学校に上がる前の経験がないからできないと仮定するのは、ちょっと無責任な気もしているのですが…。低学年のうちの『OO遊び』の段階で、既にかくできないという子が何人もいます。何とかできるようにしたくても怖さからか体が強ばってしまって、どうにもこうにも動くことができない子がいて、何もできずに終わってしまうことを、皆さんも経験していると思います。鉄棒(器械運動全般に言える)に関しては、“ぶら下がる”“回る”“逆立ち”などの運動を、幼少期にしておけると感覚が養われるかと思ひます。このような動きは、小学生になってから行う必要ももちろんあります。単元の準備運動で行うだけでなく、『体づくり運動』と上手く合わせるのもありますね。無理だとあきらめることなく、手立てを講じていきたいですね。



## 第25週 (10/7~10/13) 時間割&学習内容

	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)	学習内容	
1校時	6年:4年	1年:6年	3年:2年	【学芸会 児童公開】	1年:4年	【職員研修 授業のまじり合い】	【学芸会 一般公開】	1年生	学芸会練習
2校時	1年:3年	4年:5年	6年:1年		5年:3年			2年生	学芸会練習
3校時	4年:2年	5年:1年	5年:4年		6年:1年			3年生	学芸会練習
4校時	5年:1年	3年:2年	2年:3年		4年:2年			4年生	学芸会練習
5校時	2年:5年	6年:3年	1年:5年		2年:5年			5年生	学芸会練習
6校時	3年:6年	2年:4年	4年:6年		職員反省会			3年:6年	6年生



身につけておきたい36の基本動作




# JUST DO IT.



2019/10/18 No. 30

## 体育における「かかわり」って？

学芸会お疲れさまでした！練習から本番にかけて、どの学年も成功や失敗をくり返しながらもよい流れで進んでいったことが、素晴らしい発表をたくさんの人たちに見せられたことに繋がったのでしょうか。学芸会が終わって、若干、目標を見失いがちな時期であります。この流れや子どもたちの意欲を別な取組に生かしていきたいですね。



さて、体育の授業もほとんどない時間があり、やらなければならないことにも手を付けたくなく、読んでいなかった雑誌を読んでみると目を引かれる文章がありました。それは、タイトルにもある通りの体育における「かかわり」についてです。我々の仕事は、子どもとかがかわることがほとんどであります。（もちろん、保護者や地域とのかかわりも。）体育だけに限らず、子どもたちとかがかわることで授業も進んでいきますし、日常生活も進んでいきますよね。雑誌には、体育独自の「かかわり」とは「身体的かかわり」であると書かれていました。「話し合いだけでは共有することができないことが、動き合いで共有することができて【身体的な感じの共有】となり、それこそが体育独自の「かかわり」であろう。」と掲載されていました。「話し合いだけでは共有できないことがある」という部分は、たしかにそうだなと私も感じました。感覚的な部分を伝えるには、やはり「動き」が必要になってくるのでしょうか。かなりざっくりとした説明になってしまい、ちょっと分かりづらいかと思います。記事を添付しますので、時間のある時に読んでくださいm(\_ \_)m また、私が所属している研究団体の話し合いでも、「体育は全ての教科の中で唯一、身体接触がある授業だ。身体接触があることで「かかわり」が生まれて、新たな発見を見つけることができるので、補助をさせることもとても重要である。体に触れることで力の入れ方や上手くできている点、普段では分からない体の温まり方なども知ることができる。」という話がありました。いい意味で体が触れ合うということは、体育の授業にとってはとても重要なことだと、改めて考えさせられました。上手く授業に取り入れたいですね。



## 第27週 (10/21~10/25) 時間割&学習内容

	21日(月)	22日(火)	23日(水)	24日(木)	25日(金)		学習内容	
1校時		国民の休日		5・6年生	開校記念日	1年生	体力テスト	
2校時	3年生			6年生		1年生	2年生	体力テスト
3校時	1年生		x			2年生	3年生	体力テスト
4校時			啓徳			3年生	4年生	体力テスト
5校時	2年生		啓徳(総合講話)			4年生	5年生	体力テスト
6校時	委員会		啓徳			クラブ	6年生	体力テスト



# JUST DO IT.



2019/11/1 No. 32

## 体育の授業づくりの際に考えてみるとよいでしょうね~

先週に比べると今週は暖かかった感じがしますが、先日、授業でグラウンドに出た時にたくさんの雪虫に襲撃されました。持っていた紙や服、髪の毛に付くだけでなく、鼻の中にまで侵入しようとしてきました。雪虫が発生しているということは、もう冬が間近ですね…。

さて、みなさんは、運動を行う上で必要な【3つの間(サンマ)】という言葉を知っていますか？体力低下の原因の一つにも、この【サンマの減少】があるとされています。「間」という漢字がある熟語(〇間・〇間・〇間)をまとめて【サンマ】とされているのですが、どの言葉が当てはまるか分かりますか？それは、『時間』『空間』『仲間』です。【サンマの減少】は、日常的な忙しさ(毎日の6時間授業、習い事など)により、子どもたちが体を動かして遊ぶ時間が減り、遊ぶための場所=空間が少なくなり、一緒に遊ぶ仲間が少なくなってきているということです。最近ではこれに、『手間』という4つ目の「間」も加えられた、【ヨンマ】も聞くことがあります。科学技術の発展により、生活の中でも機械化・自動化が進んで手間が少なくなり、体を動かす必要が少なくなってきているということもあるようです。



【サンマ?】

これらを意識することは、体育の授業でも重要であると思います。それぞれの活動にどのくらいの時間をかけ、どのような場の設定=空間で行い、どのように仲間との関わりをもたせるか考えると、よい授業に繋がっていくでしょうね。それを考える手間も、よい授業づくりには必要になるでしょうね。授業を考える際に、【サンマ】や【ヨンマ】についても考えてみると、何かヒントが出てくるかもしれないですね。現在、悪戦苦闘中の「タグラグビー」でも、し



【さんま?】 っかりと考えていかなきゃなと、自分自身に言い聞かせています…。



## 第29週 (11/4~11/8) 時間割&学習内容

	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)		学習内容
1校時	振替休日	2年生		6年生	4年生	1年生	なわとび ボールけりゲーム
2校時		6年生		1年生	6年生	2年生	なわとび
3校時		1年生	4年生	2年生	留研 研修講座 (東光小) のため不在	3年生	タグラグビー なわとび
4校時		3年生		4年生		4年生	ハンドベースボール なわとび
5校時		5年生	3年生	3年生		5年生	なわとび
6校時						6年生	ハンドベースボール

